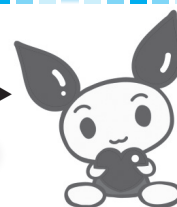


愛の献血にご協力を

～あなたの勇気で救える命があります～

献血キャラクター

「けんけつちゃん」▶



なぜ献血は必要なの？

医療技術が進歩した現代においても、血液は人工的に造ることができず、血液の機能を完全に代替できる手段はありません。また、生きた細胞であるため、長い期間保存することもできません。

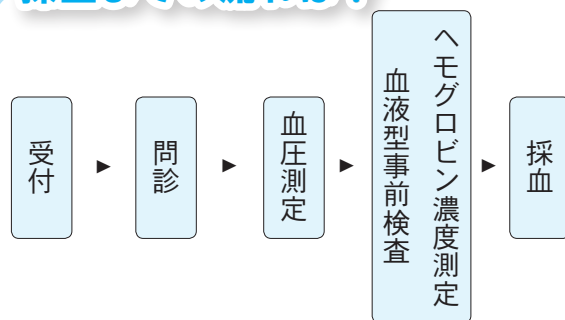
日本では、1日約3000人が病気や怪我の治療のため血液を必要としており、輸血を受ける人の約85%は50代以上です。反面、献血協力者数は減少傾向にあり、特に10代から30代の献血者数はここ10年でおおよそ30%減少しています。このような需給バランスが偏った状態が続けば、近い将来、輸血を必要とする人に血液を届けられないという事態がおこる可能性もあります。

継続的・安定的な血液供給のためには、皆さん一人ひとりの献血へのご協力が必要なのです。

どこでできるの？

幸手市では、献血バスが定期的に出張し献血を受け付けています。運行予定は、広報・ホームページなどでお知らせしています。※日時・会場については、追加・変更・中止となる場合がございます。

採血までの流れは？



献血は誰でもできるの？

16歳から69歳までの健康な人なら可能です（65歳以上は、60～64歳時に献血経験がある人）。ほかにもさまざまな基準が設けられており、当日の事前検査により可否が判断されます。

▼献血協力団体を募集します！

献血にご協力いただける企業・団体を募集しています。少しでも興味を持っていただけたら是非お気軽にお問い合わせください。

問合せ 幸手市献血会（事務局：健康増進課）
☎ (42) 8421 ・ FAX (42) 2130

認知症の人やその家族をサポート

認知症初期集中支援チーム

認知症地域支援推進員

■認知症初期集中支援チームとは？

➡ 専門職による個別支援を行うチームです

医療・介護の専門職が、ご家族の訴え等により認知症が疑われる人や認知症の人およびそのご家族を訪問し、病院への受診の支援や介護サービスの利用、ご家族の支援などの必要な初期の支援を集中的に行い、自立生活に向けたサポートをチームで行います。

【支援の対象となる人は？】

40歳以上で自宅で生活をしており、認知症が疑われる人、または認知症の人かつ、つぎのいずれかに該当する人

- ① 認知症の診断を受けたいが、本人が拒否している
- ② 病院受診を中断してしまっている
- ③ 認知症の症状が強く、対応に困っている
- ④ 介護サービスを利用したいと考えているが、なかなか利用につながらない

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り地域で安心して生活できるよう、支援をおこないます。地域包括支援センター（本紙7ページ）に設置・配置されています。お気軽にご相談ください。

■認知症地域支援推進員とは？

➡ 認知症の相談・支援のパイプ役です

認知症の人が、できる限り住み慣れた良い環境で暮らし続けるために、医療・介護・地域資源をつなぐネットワークづくりや、相談、認知症に関する情報・知識の普及啓発活動などを行います。

問合せ 介護福祉課 ☎ (42) 8438 ・ FAX (43) 5600

《幸手市医師会》

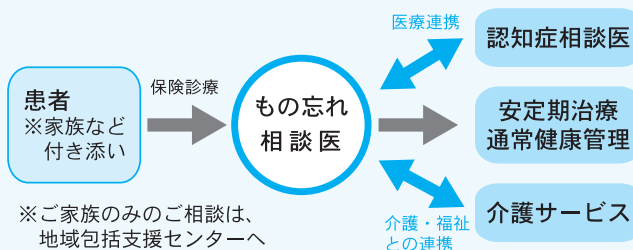
市内における認知症の早期診断・治療体制

財布などをどこに置いたか忘れてしまう、物や人の名前が出てこない…。誰でも年を取ると「もの忘れ」が気になるものです。そのような「もの忘れ」の中に、初期の認知症が潜んでいる場合があります。

認知症は、早期に発見し、適切な治療やケアを受ければ、進行を遅らせることができます。気になる症状が見受けられたら、できるだけ早い段階で医療機関に相談することが大切です。

市内の身近な医療機関の外来でも「もの忘れ相談」を受けることができます。早めに受診して相談しましょう。なお、ご家族のみの相談は、地域包括支援センターでお受けしています。

身近な医療機関での「もの忘れ相談」
(もの忘れ相談医・認知症相談医の役割と医療連携)



二 ご家族のみの相談窓口

幸手東地域包括支援センター (ウェルス幸手内)

対 象 権現堂川・吉田・八代・さかえ・さくら
小学校区の人

問合せ ☎(53)6151・FAX(53)6160

幸手西地域包括支援センター (旧香日向小学校内)

対 象 幸手・行幸・長倉・上高野小学校区の人

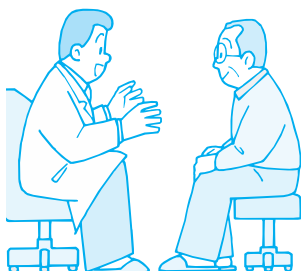
問合せ ☎(40)3443・FAX(44)0870

二 もの忘れ相談医

(7月1日現在)

患者や家族から認知症の初期症状かどうかの相談を受け、専門医の診察が必要な場合は、認知症相談医へ受診誘導します。

また、認知症の状態が安定している人の通常の健康管理や安定期治療も行っています。



医療機関	住所	電話番号
石塚医院	北 3-10-20	☎(43) 7777
いわさきハートクリニック	南 3-11-20	☎(44) 3810
牛村病院	中 5-4-51	☎(42) 0025
香日向クリニック	中川崎 739-3	☎(44) 3001
久我クリニック	中 5-9-17	☎(40) 3105
野口内科小児科医院	南 2-4-9	☎(42) 0123
東内科小児科医院	中 3-8-10	☎(42) 0409
堀中病院	東 3-1-5	☎(42) 2081
むさしのメディカルクリニック	幸手 2807	☎(40) 6001

二 認知症相談医

神経内科では認知症の早期診断・治療、精神科では認知症による困った行動に関する相談・治療を行っています。また、もの忘れ相談医からの紹介を受けての相談・治療も行っています。

(7月1日現在)

市内医療機関	住所	電話番号	担当科	受診方法など
東武丸山病院	南 2-2-13	☎(42) 0710	精神科外来 (精神科医)	受診前に診療の予定などについて必ずお問い合わせください。
堀中病院	東 3-1-5	☎(42) 2081	神経内科 (非常勤医師) ※予約制	診療は第2・第4火曜日です。受診前に必ず予約をしてください。
むさしのメディカルクリニック	幸手 2807	☎(40) 6001	脳・神経内科 (神経内科専門医) ※予約制	診療は第2・第4土曜日です。受診前に必ず予約をしてください。
市外医療機関	住所	電話番号	担当科	受診方法など
久喜すずのき病院	久喜市 北青柳 1366-1	認知症疾患 医療センター ☎(23) 3300 地域連携室 ☎(23) 6848	物忘れ外来 (精神科専門医)	院内の認知症疾患医療センターまたは地域連携室にご相談ください。
済生会栗橋病院	久喜市 小右衛門 714-6	地域連携課 ☎(53) 0586	神経内科 ※完全紹介予約制	もの忘れ相談医やかかりつけ医から紹介状をもらい、予約してください。診断後はかかりつけ医が経過を診ることになります。認知症関連での入院はできません。
新久喜総合病院	久喜市 上早見 418-1	地域医療課 ☎(44) 8240	神経内科 (非常勤医師) ※完全紹介予約制	診療は水曜日午後です。もの忘れ相談医やかかりつけ医から紹介状をもらい、「もの忘れのことで」と申し添えて、予約をしてください。